

平成24年度

秋田県男女の意識と生活実態調査

報告書

平成25年3月

秋田県

はじめに

秋田県の少子高齢化は急速に進んでおり、今後、社会を支える働く世代の人口も減り続けていきます。

こうした中、社会活力を維持向上し、充実した生活を送っていくためには、性別に関わらず働きやすい職場づくりや、多様な働き方の実現、家庭においては家事・育児・介護等に男女が共に協力しあうことが欠かせません。また、県民の皆様が力を出し合い、あらゆる分野で活躍できる環境を作るなど、男女共同参画社会を実現していくことが必要となっています。

県では、社会情勢の変化やそれに伴う県民の皆様の意識や生活実態を把握し、男女共同参画行政推進の基礎資料とするため、昭和55年度からほぼ5年に1度「秋田県男女の意識と生活実態調査」を実施しており、昨年9月に、平成19年以来5年ぶりに調査を実施いたしました。

本報告書が、関係機関をはじめ県民の皆様に広く活用され、男女共同参画社会実現のための一助となれば幸いです。

おわりに、このたびの調査に御協力をいただきました県民の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも本県の男女共同参画行政に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

秋田県生活環境部男女共同参画課

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	5
III	調査結果	11
1	地域活動について	13
問 1	最近参加した地域活動	13
問 2	地域活動に参加しない理由	15
2	家庭生活について	16
問 3	性別役割分担意識	16
問 4	家庭での仕事	20
3	男女共同参画に関する意識について	24
問 5	男女平等の現状	24
問 6	公職等への女性の就任	32
問 7	女性が仕事をもつことについて	33
4	男性の家事・育児等の参加について	36
問 8	男性の家事・育児等の参加	36
問 9	育児休業の取得	40
問 10	男性の家事等参加を進めていくために必要なこと	44
問 11	男性の育児休業取得が進まない理由	46
5	男女共同参画の推進に関する施策について	47
問 12	男女平等になるために重要と思われること	47
問 13	男女共同参画の推進に関する施策	48
6	しつけと教育について	49
問 14	男女平等教育を進めるために学校に期待すること	49
問 15	性別によるしつけ方	50
7	職業について	53
問 16	現在の職業	53
問 17	勤務形態	53
問 18	性別による処遇の違い	54
問 19	女性が働き続けることを妨げている問題点	55

8	DVについて	56
問20	暴力への意識	56
問21	被害経験	63
問22	相談の有無と相談先	64
問23	相談しなかった理由	65
問24	DVをなくすために必要なこと	66
9	男女共同参画センターについて	67
問25	男女共同参画センターの認知	67
10	自由意見	68
	男女共同参画について、日ごろ考えていること	68
IV	資料	73
1	結果の数表	75
2	調査票	129

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

秋田県の男女共同参画社会に関する県民の意識と生活実態を把握し、今後の男女共同参画行政の施策立案等の基礎資料とする。

2 調査の内容

- (1) 地域活動
- (2) 家庭生活
- (3) 男女共同参画に関する意識
- (4) 男性の家事・育児等の参加
- (5) 男女共同参画の推進に関する施策
- (6) しつけと教育
- (7) 職業
- (8) DV（ドメスティックバイオレンス）
- (9) 男女共同参画センター

3 調査の設計

- | | |
|----------|---------------------------|
| (1) 調査対象 | 秋田県内在住の満20歳以上の男女 |
| (2) 標本数 | 2,200人（男性1,100人、女性1,100人） |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳に基づき無作為で抽出 |
| (4) 調査方法 | 往復郵送によるアンケート方式 |
| (5) 調査期間 | 平成24年9月～10月 |

4 回収結果

有効回収数	768（34.9%）
女性	433
男性	328
不明	7

5 報告書の見方

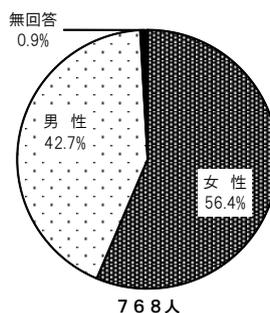
- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（%）で表記している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、「n = 」と表記している。また、複数回答可の質問についても回答者の数としている。
- (2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで表記してある。このため、各回答率を足しても、100%にならない場合がある。また、複数回答可の質問では、母数に対する回答率のため、各回答率の計は100%を超える場合がある。
- (3) 報告文やグラフ等の表現は、なるべく調査票そのままの表現を用いるが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。
- (4) 特に注釈のない場合は、全体の合計数には性別無回答 n = 7 を含む。

Ⅱ 回答者の属性

II 回答者の属性

ア 性別

	実数(人)	構成比(%)
女性	433	56.4%
男性	328	42.7%
無回答	7	0.9%
総数	768	100.0%

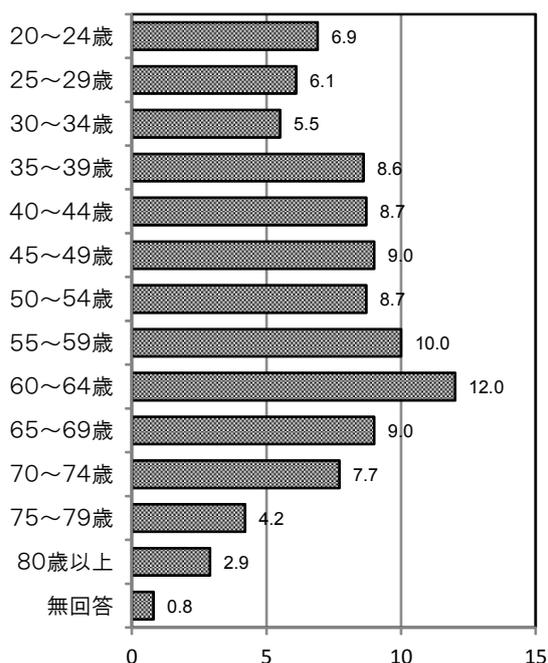


イ 年齢別

	全 体		女 性		男 性	
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
20～24歳	53	6.9%	33	7.6%	20	6.1%
25～29歳	47	6.1%	29	6.7%	18	5.5%
30～34歳	42	5.5%	25	5.8%	17	5.2%
35～39歳	66	8.6%	39	9.0%	27	8.2%
40～44歳	67	8.7%	37	8.5%	30	9.1%
45～49歳	69	9.0%	36	8.3%	33	10.1%
50～54歳	67	8.7%	40	9.2%	27	8.2%
55～59歳	77	10.0%	45	10.4%	31	9.5%
60～64歳	92	12.0%	49	11.3%	43	13.1%
65～69歳	69	9.0%	41	9.5%	28	8.5%
70～74歳	59	7.7%	27	6.2%	32	9.8%
75～79歳	32	4.2%	18	4.2%	13	4.0%
80歳以上	22	2.9%	13	3.0%	9	2.7%
無回答	6	0.8%	1	0.2%	0	0.0%
総数	768	100.0%	433	100.0%	328	100.0%

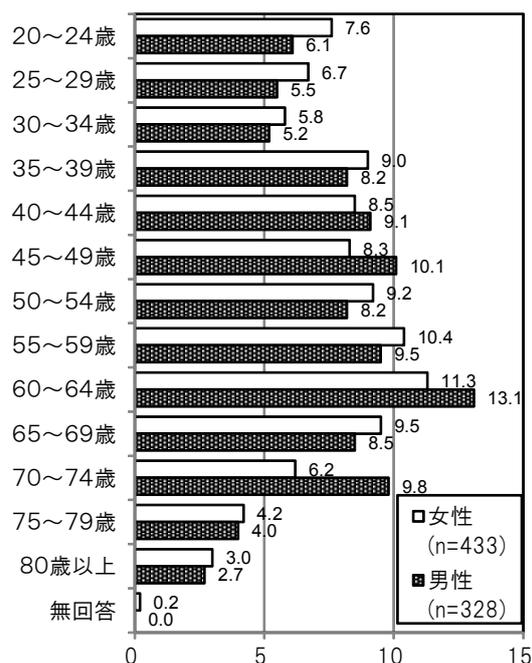
【全体】

(%)



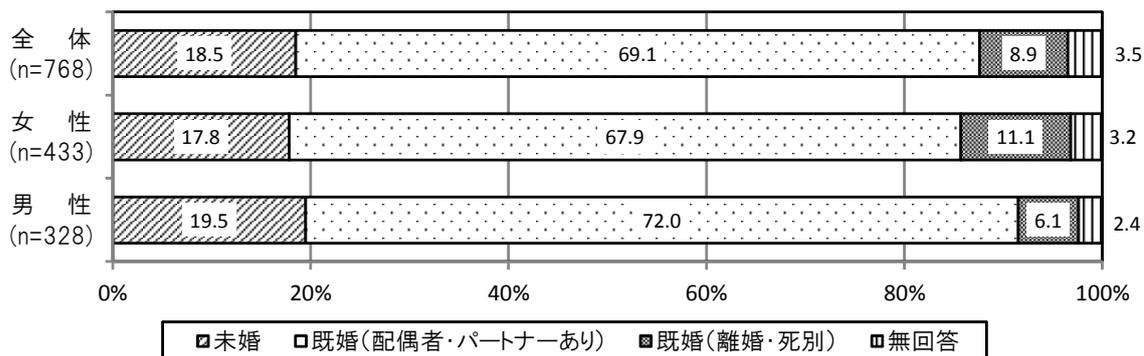
【性別】

(%)



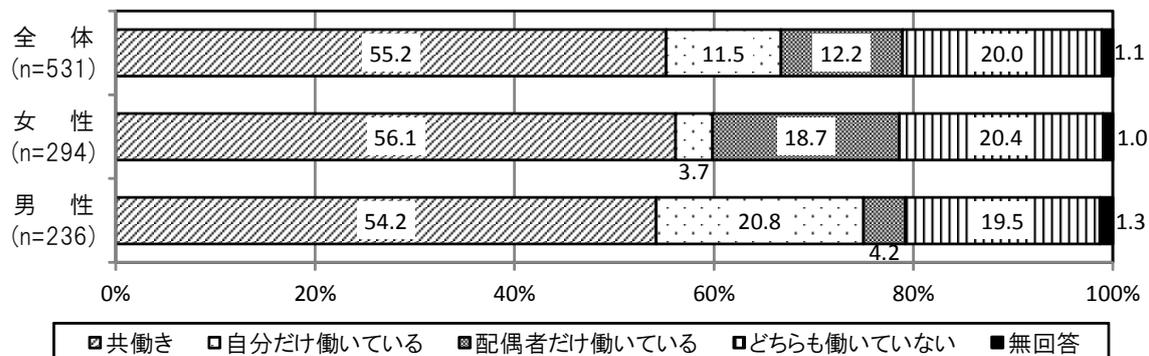
ウ 結婚の有無

	全 体 (n=768)		女 性 (n=433)		男 性 (n=328)	
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
未 婚	142	18.5%	77	17.8%	64	19.5%
既 婚 (配偶者・パートナーあり)	531	69.1%	294	67.9%	236	72.0%
既 婚 (離別・死別)	68	8.9%	48	11.1%	20	6.1%
無回答	27	3.5%	14	3.2%	8	2.4%
総 数	768	100.0%	433	100.0%	328	100.0%



エ 既婚者（配偶者、パートナーあり）の共働きの有無

	全 体 (n=531)		女 性 (n=294)		男 性 (n=236)	
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
共働き	293	55.2%	165	56.1%	128	54.2%
自分だけ働いている	61	11.5%	11	3.7%	49	20.8%
配偶者だけ働いている	65	12.2%	55	18.7%	10	4.2%
どちらも働いていない	106	20.0%	60	20.4%	46	19.5%
無回答	6	1.1%	3	1.0%	3	1.3%
総 数	531	100.0%	294	100.0%	236	100.0%



オ 家族構成

	全 体 (n=768)		女 性 (n=433)		男 性 (n=328)	
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
単身世帯 (1人で住んでいる世帯)	52	6.8%	28	6.5%	23	7.0%
夫婦のみ	148	19.3%	81	18.7%	66	20.1%
二世代会世帯 (親とその子どもと一緒に住んでいる世帯)	298	38.8%	163	37.6%	135	41.2%
三世代以上世帯 (親とその子どもと孫と一緒に住んでいる世帯)	192	25.0%	122	28.2%	70	21.3%
その他の世帯 (1~4のいずれにもあてはまらない世帯)	44	5.7%	24	5.5%	20	6.1%
無回答	34	4.4%	15	3.5%	14	4.3%
総 数	768	100.0%	433	100.0%	328	100.0%

